



# かもめ便り

記事紹介

新年のご挨拶  
健康講演会  
防災訓練  
秋の行楽  
給食試食研修会  
本の寄贈  
クリスマス会

1 面  
2 面  
2 面  
3 面  
3 面  
3 面  
4 面

社会福祉法人 小渦会 鳴門シーガル病院  
理事長 並木 俊明

シーガル病院

検索

【ホームページ】 <https://k-seagull.jp/> 【所在地】 徳島県鳴門市瀬戸町堂浦字阿波井57番地 【TEL】 088-688-0011 (代)

## 新年のご挨拶

新年、あけましておめでとうございます。

今年の干支、「乙巳(きのと・み)」の年は、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」、「努力を重ね、物事を安定させていく」といった、縁起のいい年だと言われています。

昭和2年7月に、地域の方々が、阿波井神社に参籠する人々のために、県内で初めての精神科医療機関である阿波井島保養院(現鳴門シーガル病院)を開院させ98年が経ちました。

昭和22年に徳島大学に精神科神経科が創設されるまでの間、県内唯一の精神科病院として、またその後も、最先端の治療で精神科医療を支えるとともに、「社会福祉法人」として、生計困難者に対して無料で診療を行うなど、地域のセーフティネットとしての役割も果たしてきたところです。

この間、「入院医療中心から地域生活中心へ」という国の方針転換に伴い、奇しくも平成25年、前回の「巳」の年に、退院患者さんのため「グループホーム」を開設したことに始まり、令和2年からは、「特定相談事業」、「就労支援事業」と、精神障がい者福祉分野の事業に試行錯誤しながら取り組んでまいりました。

そして苦労の中で成長した職員や、温かく支えていただいた関係者、関係機関の皆様のおかげで、昨年9月からは、「就労定着支援事業」、12月からは「地域移行支援事業」と「自立生活援助事業」を始められるまでになりました。

ここまで来るのに「干支」一回り、法人としてやっと入院患者さんに対し、退院から地域生活まで、切れ目のない支援が可能となったところです。

令和9年には、当法人の創立100周年を迎えます。「変わらず残るためには、変わらなければならない」とイタリアの映画監督のルキノ・ヴィスコンティが語っていますが、「乙巳」の今年、開院に奔走した人々の「思い」や、地域の方々への「感謝の気持ち」を忘れることなく、「取り巻く環境に柔軟に対応しながら、これまでの事業を更に充実させていく年」にしたいと思っています。

これからも利用者一人ひとりに寄り添い、「生まれてよかった、生きていてよかった」と思っていただけのように、また私たち職員が、「この法人で働いて良かった」と思えるよう、歴史ある法人を、共に「心」を合わせ、更なる未来へ守り育てていきたいと思います！



理事長  
並木 俊明



## 地域交流

## 健康講演会

10月16日、瀬戸公民館にて健康講演会を開催しました。

当院の古川副院長による「注意してほしい感染症－2024秋・冬－」というテーマで講演が行われました。

講演の内容は、感染の主な原因やどのような感染経路か、そして自分達が出来る感染予防についての知識をお話しました。

講演の最後に、参加して下さった地域の皆様に手洗いをしていただいて、手洗いがどのくらい出来ているか

確認できる手洗いチェックも行いました。目に見えない汚れを可視化することで、正しい手洗いの仕方の重要性を実感していただけたと思います。

当日は健康相談会も開催し、講演に参加していただいたほとんどの方が利用してくださいました。

身長・体重・尿検査・血圧測定・栄養相談・服薬相談を行い、自分の身体の状態について知るとともに、普段気になっていることなど様々なことをご相談いただきました。

当病院では、毎月第三木曜日に堂浦ふれあい会館で健康相談会を行っております。

地域の皆様の健康維持や講演会等の企画など、様々なことで貢献していきたいと思っておりますので、これからもどうぞよろしくお願いいたします。



(手洗いチェックの様子)



## シーガルニュース

## 防災訓練を行いました

11月6日に防災訓練を実施しました。今年は避難訓練に加え、災害時の炊き出し訓練も行いました。

避難訓練では、震度6強の地震が発生し、続いて大津波警報が発令されるという想定で行われました。職員は誘導者・ルート確認者などの役割に分かれ、避難ルート確保や歩行困難な患者さまを車いすにて誘導する

訓練を行いました。

炊き出し訓練では、アルファ米を使用した炊き出しを行いました。災害時の人員確保困難事態に備え、多くの職員が炊き出しの知識を習得

できるように緊急災害用釜の組み立てと使用方法を訓練しました。訓練後には実際に炊き出したアルファ米と豚汁の試食を行いました。



## イベント

## 秋の行楽

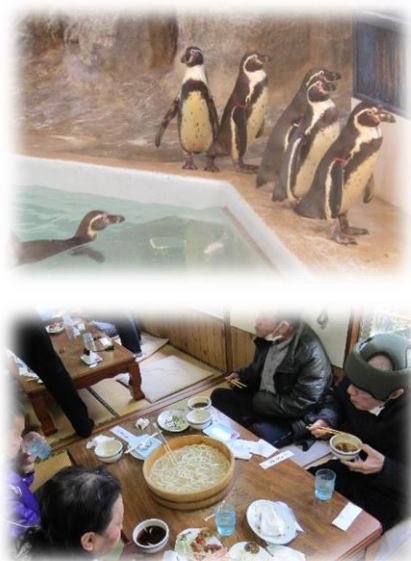
秋といえば、行楽に絶好の季節。

この時期に毎年恒例の遠足ですが、今年は2班に分かれて実施しました。

第1班は少し遠出して、香川県の水族館へ。美しい色彩の魚たちやかわいいペンギン、イルカショーなど見どころたっぷりでした。お昼ごはんは焼肉弁当で、院内では中々味わえない風味を楽しみました。

第2班はたらいうどんを食べに、阿波市へお出かけしました。湯気の立ち上るたらいに入ったうどんをすくいあげ、出汁の効いたつけだれにつけて一口食べると、つるつるとした食感と優しい出汁の風味が口いっぱいに広がりました。迫力のあたる大きなたらいのうどんは量もたっぷり、心もお腹も大満足のひとつきでした。

1班・2班とも、それぞれに楽しんでいただき、心弾む秋の思い出となりました。



## シーガルニュース

## 給食試食研修会を行いました



12月4日、教育委員会による給食試食研修会を行いました。

患者様が食べている給食のブレNDER食やミンチ食、とろみをつけたお茶などを職員が試食しました。実際に試食してみたことで、それぞれの形状や粘度等を実感でき、様々な状態の

患者様に提供する給食の重要性も再確認できました。



アジフライ、うま煮、酢の物、ミモザサラダ、おかゆなど

## シーガルニュース

## 本の寄贈をいただきました

12月18日、新刊「娘の強迫症：巻き込みの渦が消えるまで」（星和書店）のご著者 宇沢あき代様が鳴門シーガル病院にご来院され、宇沢様から当院院長の福永明広に10冊のご著書のご贈呈を賜りました。

本書はタイトル通り重度の強迫症に罹患した娘さん

の家族への確認行為の強制、本人によって決められた儀式への参加の強制、そのような強迫症の巻き込み現象の始まりから終わりまで30年近くの経過を記録にまとめられたものです。

最終的に当院での入院治療によって強迫症状は現在全くなくなっています。

今回のご贈呈は宇沢様からそのことに対する感謝の気持ちを当院に伝えたいとの趣旨にて行われました。



イベント We Wish You a Merry Christmas!

当院では12月初旬からイルミネーションの飾りつけを行いました。玄関の銅像もサンタクロースの帽子を被ってクリスマス仕様に変身。クリスマス会の会場となる場所には、大きなツリーを飾ってクリスマスの気分をアピールしました。

そしてクリスマス会当日、開催時間が近づくにつれて会場はだんだんと人が多くなり、定刻にはたくさんの人でいっぱいになりました。歩ける人はもちろん、普段から歩行器や車いすを使用している人も、職員にサポートを受けながら

集まっていただきました。クリスマス会では、まず先生方の歌から始まり、次に患者様方のカラオケ大会となりました。希望された方が多くの観衆の前で歌い、踊り、一曲一曲ごとに盛大な拍手が送られました。

希望者すべてが歌い終わると、審査員による結果発表が行われました。出演された方もされなかった方も発表をドキドキと見守り、それぞれの賞が発表された瞬間、ワッと歓声が上がりました。

カラオケ大会が終わるとお楽しみ抽選会が行われました。職員がくじを引いて当選された方

一人ひとりにプレゼントと引き換えの券を渡すと皆さまニコニコと受け取ってくださいました。

クリスマス会の後は、おやつにクリスマスケーキを提供しました。甘いクリームに乗った甘酸っぱいいちごのケーキが、クリスマス会の最後を彩る素敵なデザートとなりました。

参加して下さった全ての方がニコニコと笑顔を浮かべてくださり、こちらも嬉しく思った出来事でした。



【編集後記】

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。秋冬はイベントたっぷりで、今回のDr.'sエッセイはお休みです。寒い日が続きますが、うがい手洗いなど感染予防に気を付けて健康な日々をお過ごしください。

次号(『かもめ便り』第36号)は、2025年4月に発行の予定です。



鳴門シーガル病院 交通案内

● JR鳴門駅から「北泊・堂浦行」徳島バスで堂浦(どうのうら)下車(所要時間20分)

● 直営渡船利用 (所要時間2分)

◎ 渡船(無料) 運航時間

午前7時30分から午後5時20分まで

定時運航(10分~30分間隔)しています。

TEL088-688-0011(代)

